

幸せの黄色いチラシ

皆様の快適生活のお役に立つ情報をお届けします。(2021年9月23日発行) 第188号



こんにちは！店長小林です。パラリンピックの終了と同時に秋の到来を感じる今日この頃ですが、皆様お変わりございませんか？ところで来月1日は「メガネの日」10日は「眼の愛護デー」。そこで今月のチラシはメガネ特集号です。当店では古いメガネの復活、さらには正確な作製技術と掛け心地調整で快適なメガネをご提供しております。メガネのこと何でもお気軽にご相談ください。

メガネの修理・レンズ交換をお任せ下さい！



実は店長小林はここ10数年、仕事用のメガネの品番を変えていません。(同型のメガネを複数所有)なぜかという軽さや機能性はもちろんですが1番の理由は「自分の顔に合っていると思うから」つまり「お気に入り」だからなんです。

皆さんもそんな思いのメガネをお持ちではありませんか？もし「下がってくるようになった」「少し壊れているから」「流行と違うから」そんな理由でしまい込んでいるお気に入りのメガネがございましたらオプトコバヤシにお任せ下さい！



点検修理を行い、レンズの傷や度数変化を自覚されている場合は今現在の最適度数をお入れして再び快適にお使いいただけるよう「お気に入りメガネ復活」のお手伝いをいたします。

メガネの部品交換：330円～ フレームの破損修理：4,950円～

レンズ交換(左右一組)：単焦点11,000円～ 遠近両用16,500円～



ちょっとコーヒブレイク

「緑のカーテン2021」



西日を避けるため、毎年取り組んでいる「緑のカーテン」ゴーヤですが、今年は過去最高の出来映えで、丸々太った実もたくさん収穫出来ました。その要因として「早めの摘心と追肥」そして「朝晩の水やり」だと思っています。摘心とは「枝の先端の生長点を摘み取ること」で、ゴーヤの場合、本葉が4枚程度になったときが丁度良いタイミングだと言われています。

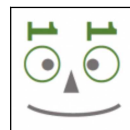
しかし手塩に掛け、ようやく数十センチに伸びた幼苗の先端をカットするのは長野弁で言うところの「もーらしい」新潟弁だと「もーつけねえ」「めじょげな」(諸説あります^^;) ため毎年躊躇していましたが、今年は心を鬼にして摘み取ると、枝が横に伸びた後、複数の脇芽から垂直に枝が伸び一安心！。そして毎朝の給水と2週間に1度の追肥を続けたところ隙間がないほど葉が茂りました。しかし涼しくなった今は暗い窓部に補助灯を付けることもあり(笑)「緑のカーテン大成功！」に一喜一憂する店長小林です。



来月1日はメガネの日



10日は眼の愛護デー



当店では左記のように「メガネの点検修理やレンズ交換」を積極的に行うと共に、最新の測定機器や加工機械を導入し、常に精度の高いメガネの作製を心がけております。また視力の出にくい方や、見え方に不安を感じておられる方には眼科の先生をご紹介しますので、どなた様も安心してご来店下さい。

当店ではこのようにしてメガネをお作りしています(作製手順)



①機械に頼らず、様々な方法を用いて「目の状態」や「目の使い方」を測定します。



②二種や大型免許の更新前に深視力のチェックをしていただける「三桿計」も導入しました。



③たくさんあるブランドの中から好きなフレームをお選び下さい。(アドバイスもいたします)



④フレームを掛けた時の瞳の位置を測定し、レンズの中心と一致するようにデータ化します。



⑤加工は全自動加工機で行いますが、最後は手摺機でベストサイズに調整します。

メガネはフィッティングが命

上記のような最新の測定機器を利用してもフィッティング(掛け心地調整)が不十分だと効果がでません。当店では埼玉眼鏡研究所の横田先生の「正確な測定で作られたメガネでも、安定して掛けられなければ意味が無い」つまりフィッティングがメガネの命であることに賛同し、レンズの中心と瞳の位置を一致させ、疲れにくく快適な掛け心地のメガネをご提供いたします。



20本以上の工具を使用します。



複数の工具でメガネの角度調整



耳へ掛ける部分を丁寧に曲げます

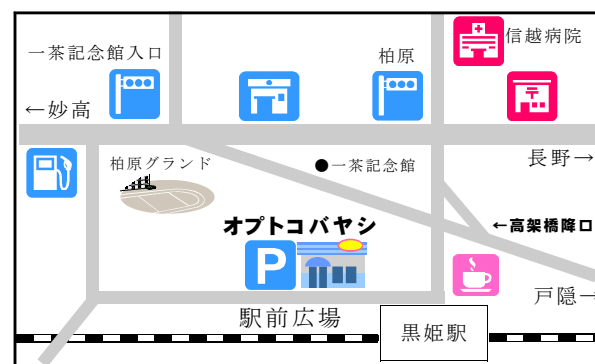


耳やお顔の形にピッタリ合わせます



鼻パッドもベストフィット！

左の写真は横田先生のHPからお借りして掲載させていただきました。



各種カード・パスポートご利用いただけます。



ブログ

メガネ・補聴器・時計・時計修理と電池バンド交換・宝飾品・指輪のサイズ直しとリフォーム



オプトコバヤシ

障害者総合支援法指定店 日本補聴器販売店協会正会員
「SS級認定眼鏡士」テクノエイド協会「認定補聴器技能者」の店

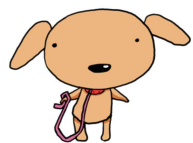
営業時間：8時～19時

定休日：土曜の午後 毎週 日曜日

☎ 026-255-2452

メガネ・補聴器共に少々お時間を頂戴し、丁寧な調整を心がけております。初めてのご来店の際にはお待ちせしないためにも、事前の電話予約お勧めいたします。

裏面には「少し時間がかかります。なぜなら」とコラム「オプト散歩」を掲載！ぜひご覧ください。➡



オプトコバヤシの店長が、地道に足で稼いだ地域情報やニュースをお届けします。

オプト散歩

「いいづなリンゴフェア」

新聞チラシ「飯綱町のりんごを楽しむ秋の88日」のキャッチコピーに惹かれ、またスタンプラリーを楽しむため9月の第一日曜にカミさんと一緒に飯綱町（いいづなリンゴフェア）に出かけました。

まず向かった先は農産物直売所「さんちゃん」横の食ごよみ「日和」さん。スタンプラリー対象メニューは「そば屋のとんかつカレー（プラムリーりんごソース）」。とんかつは普通のソースで「とんかつ定食」カレーに乗せて「カツカレー」最後にりんごソースをからめ「洋風カツ定食」と何度も味変が楽しめます。また、ご飯大盛り無料はメタボにはうれしいサービス。



昼食後は「日和」さんから歩いて0分、お隣の「さんちゃん」（正式名は『飯綱町 ふるさと振興公社』農産物直売所さんちゃん）にて新鮮な果物や野菜を購入し難なくスタンプ1個をゲット！ここはスタンプラリーの景品交換所にもなっていて台紙はもちろん、いろいろな情報を親切に教えてもらえます。（スタッフさんの笑顔が素敵！）



そして食後のデザートは（メタボの辞書に満腹の文字はなし）3つめのスタンプ獲得を目指し「Cafe傳之丞（でんのじょう）」さんへGO！

このお店は「築70年の古民家の一角にあります。江戸時代からこの地を守ってきた山下家。その歴代当主が代々襲名してきた名前「傳之丞」をお店の名称としました。」（お店のHPより）とのこと。こちらではスタンプ対象の「プラムリーアップルパイ（ドリンクアイス付き：手前のプレート）」をいただきました。



太ったおかげで頑張ったおかげで見事1日でスタンプ三つを集めました。そして台紙を持って再度「さんちゃん」へ！お店の一角にある交換所には、それはそれは素晴らしい景品が用意されており（←「笑点」の座布団10枚の商品かよ！）それを手にして久々の達成感を味わった店長小林夫婦です。

フェアは10月15日まで「英国りんごフェア」その後11月30日まで「りんごスイーツフェア」と、まだまだ楽しめますので読者（笑）の皆様も参加されてはいかがですか？私も家族と再チャレンジしようと思っています。本紙への掲載を快くご承諾いただいた各店の皆様、並びに関係者の皆様、大変お世話になりました。

当店の視力測定とメガネ調整には少し時間がかかります。なぜかという・・・
「目の性格や」や「メガネの使用環境」などを大切にしているからです。



黒板の文字が見えづらい。夜間や雨の日の車の運転が怖い、小さな文字が読みにくい。そんなご不自由からメガネを作る方が多いと思います。でも単に「見えれば」いいんでしょうか？「読めれば」いいんでしょうか？

「よくは見えるけれど疲れるので長時間掛けていられない。」「新聞は読めるけれど、カタログなどの細かな文字は無理！」「そんな経験ありませんか？実は目は生きる上での80%以上の情報を収集しているんです。だから見る目的（遠用・近用・中近）をはっきりとさせ、左右の目の位置と動きを確認し、どんな環境や状態（室内・屋外？車の運転時？起きて・寝て？）で使用されるかを考慮した上でのレンズと度数の選択。そして加工前からお顔に合わせたフレームの掛け心地調整をしないと快適メガネが出来ないんです。



当店では複数の測定結果を基に使用環境を考慮した度数選択と合わせ、お客様の目の特徴と、さらにはレンズの中心と瞳の位置データを数値化します。そしてメガネの形を鼻や耳や側頭部の形状に合わせ調整することで下がってこない、掛け心地が良いメガネをお作りしています。だから他店と比べ視力測定&メガネのフィッティングには少々お時間をいただきます。そのためお待たせしないよう（最近では三密予防対策も考慮し）予約優先とさせていただいております。（ご予約は当日でもOKです！）

SS級認定眼鏡士の店長小林が、よいメガネを作るコツ・使うコツお教えします。

- ① どこを見たいか何が見えないのか伝えましょう。
- ② 仮度数チェックの時は歩いたり動いたり。（近用度数は、いつもの距離や姿勢を思い出して！）
- ③ 今使っているメガネがあれば持参しましょう。
- ④ フレームはどんどん試着して決めましょう。
- ⑤ 1～2週間後、最終調整に行きましょう。
- ⑥ 半年に一度はクリーニングと掛け心地調整を！

メガネは身につけるものですから当然汚れます曲がります。メガネが下がると目とレンズの中心がずれ、疲れの原因になります。だからメガネは定期的なクリーニングと調整が大切なんです。

♪新商品情報♪ 新聞でも紹介されたニコンの新設計遠近両用レンズ



8月24日の信濃毎日新聞で紹介された「お客様と一緒に見え方を確認しながら設計する遠近両用レンズ」ニコン「センチュリーA12.0」

従来は0.25単位での度数調整を、0.01刻みで行えるため遠くの景色から机上のパソコン、手元の携帯電話まで無理なくスムーズにピントを合わせしやすくなりました。初めて遠近両用レンズのご購入を検討されている方、過去に遠近両用メガネを作製し苦手意識を持たれている方にもお勧めです！